

JA 全農杯 全国小学生選抜サッカーin 関西 和歌山県大会 開催要項

1. 主催 一般社団法人関西サッカー協会 一般社団法人和歌山県サッカー協会
2. 主管 一般社団法人和歌山県サッカー協会 4種委員会
3. 後援 日刊スポーツ新聞社
4. 特別協賛 全国農業協同組合連合会 (JA 全農)
5. 協賛 奈良県農業協同組合・和歌山県農業協同組合連合会
中田食品(株)・アズマハウス(株)・(株)スズキモーター和歌山・(株)南北・(株)キナン
6. 期日 2025年2月9日(日)
7. 会場 サカイキャニングスポーツパーク多目的グラウンド
8. 参加費 7,000円/チーム 締切期日2025年1月27日(月)
振込先：紀陽銀行 東和歌山支店
一般社団法人和歌山県サッカー協会
普通預金 【口座番号】2011512
9. 参加資格 (1)2024年度(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録を完了し、本大会の参加申込書を提出した5年生以下で構成した単独チーム。
(2)各地区予選を勝ち抜き、地区より推薦があるチームとその選手。
(3)撮影した写真(試合風景及び表彰式等)の(一社)和歌山県サッカー協会ホームページへの掲載及びA Iカメラで撮影した映像の同協会技術委員会等での使用について、選手・保護者の同意を得ていること。
(4)2024年度に日本サッカー協会4種に加盟登録したチームと選手であり、本大会に参加する選手は、原則(公財)日本サッカー協会発行のWEBで打ち出した選手証を持参しなければならない。
ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。選手証が確認出来ない場合は、試合に出場できない。
※選手証とは、本協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を背番号順に印刷したものとする。(指導者に関しては、スマートホン等でライセンス証を確認する)
(5)引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある20歳以上の指導者であること。
また、ベンチ入りする指導者は、日本サッカー協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。当日、受付時にライセンスチェックを行う。
(6)参加チームは必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。
(7)参加チームの構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は、年間を通じて継続的に活動した「加盟チーム」に所属している選手とする。当該チームがブロック予選で登録選手が20名に満たない場合は、「加盟クラブ」内の選手より20名を上限として補充することができる。また、異なる加盟チームからの移籍後や、複数チーム参加のクラブ内での選手の入替による参加は認めない。
(8)地区予選において、他チームにてエントリーされていた選手を移籍してのエントリー登録はできないものとする。
(9)参加選手は、健康であり、保護者の同意を得ること。

10. 参加チーム及びその数

- (1) 8ブロックからの代表1チーム。合計8チーム。
- (2) チーム編成は選手16名以上20名以内、指導者5名以内とする。
なお、指導者のうち1名を監督とすること。

11. 大会形式 トーナメント方式。4種委員会により抽選で決定する。

12. 競技規則 (公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。
(今大会は、2023/2024年日本サッカー協会競技規則を適用する。)

13. 競技会規定(1)(公財)日本サッカー協会による「8人制サッカールールと審判法」に則して行うが、
本大会は3ピリオド制とし、以下の規定に従い行う。

- (2) フィールドの表面は天然芝を使用とする。
- (3) 競技場のサイズは以下のとおりとする。
フィールドの大きさ：長さ(タッチライン)は68m×幅(ゴールライン)50m。
ゴールの大きさ：間隔5m×高さ2.15m。ペナルティエリア：12m。
ペナルティマーク：8m。ペナルティアークの半径：7m。
ゴールエリア：4m。センターサークル半径：7m。

(4) 試合球 少年用4号球を使用する。

(5) 競技者の数

1チーム8人の競技者によって行われる。内1人はゴールキーパーとする
本大会は、試合開始前16人に満たない場合は試合を行わず、0-3の不戦敗とする。

(6) ベンチに入ることのできる人数は交代要員12名、指導者2名以上3名以下
(これに反した場合は大会規律委員会より懲罰を科す)とする。
(エントリー時に登録された選手と登録された指導者に限る)

なお、ベンチ入りする指導者は、日本サッカー協会公認のライセンス(D級以上)を有すること。

(7) ベンチを出て、テクニカルエリア内での戦略的指示を伝えることが出来るのは、ただ1名とする。その指導者は、大会本部へ事前に申し出ること。ADカードを発行します。
その他の指導者は、ベンチ内からの戦略的指導は控えること。

(8) サイドコーチ・異議 ベンチ入りする指導者が審判員の判定や指示に対して異議を申し立てる行為や選手に対して罵声などネガティブな発言を行った場合は、罰則処分(警告・退場)の対象となる。

なお、その行為を行った者が特定できない場合は、監督が罰則を受けることとなる。

(9) 競技者の用具・ユニフォーム

①本協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断した時は、組み合わせ表の左側チームが優先権を持つことを伝える。

②ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書(WEB登録)の際に記載し、各試合に必ず携行すること(FP・GK用共)。

本協会に登録されたものを原則とする。

③シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの前面の選手番号については、つけることが望ましい。

④選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。

- ⑤ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。
- ⑥ソックスにテープまたはその材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合はソックスと同色でなくても良い。
- ⑦アンダーシャツ、アンダーショーツ、タイツの色
アンダーシャツの色は問わない。原則、チーム内で同色のものを着用する。
アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。原則、チーム内で同色のものを着用する。
- ⑧ユニフォームへの広告表示については、日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならず、参加申込み前までに、本協会に承認された場合のみに認められる。
- ⑨競技者の用具は、シャツ、ショーツ、ソックス、レガース、シューズとする。
また、ハットギア、ノーズカバー、ヘアバンドは認めるが、それ以外の装飾品を身につけての試合出場は認めない。(試合に不必要な物は原則認めない。)

(10) 試合時間

- ①12分×3ピリオドとする。(第3ピリオドのスタート時は第1ピリオドのエンドと同じで、中間点でエンドを替える。)
12分－(1分)－12分－(5分)－12分
- ②ピリオド間のインターバルは、第1ピリオドと第2ピリオドは1分、第2ピリオドと第3ピリオドは原則5分とする。
- ③規定時間内に決定しない場合は、3名ずつによるペナルティーキック方式で勝敗を決める。
ただし、決勝戦は10分間の延長(前後半5分)なお、決しない場合は、3名ずつによるPK戦(ペナルティーシュートアウト)方式で勝敗を決定する。
延長戦に入る前のインターバルは5分間とする。(延長戦は第3ピリオドと同じ規則とする)
PK戦(ペナルティーシュートアウト)方式に入る前のインターバルは原則1分間とする。

(11) 交代手続き

- ①第1ピリオド、第2ピリオドは選手を総替えし第3ピリオドは自由とする。
従って、選手登録人数は16名以上が必要となり、試合開始前に15名以下では相手チームの不戦勝となる。
- ②第2ピリオドに出場出来るのは、第1ピリオドに1度も出場していない選手に限る。以下について、大会出場チームの選手に不都合が有れば大会運営本部にて決定する。
(当日、登録選手に不都合が起き、試合に出場出来ない場合は、当該クラブの出場資格を有する日本サッカー協会登録選手であれば、出場を認める)
- ③交代して退く競技者は交代ゾーンからフィールドの外に出る。ただし、交代して退くゴールキーパーは境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
- ④交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
- ⑤交代は補助審判の承認を得て、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。交代は、主審の承認を得る必要はない。
- ⑥ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることがで

きる。

※交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

(12) 負傷者の対応 主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。

(13) 組み合わせ表の左側のチームをホームチームとする。

ユニフォームが重複する場合は、左側チーム優先とする。

また、ベンチについては、左側のチームがベンチよりピッチに向かって左側とする。

14. 懲 罰 (1) 地区予選、最終試合において退場があった場合県大会1回戦の出場は認めない。
(本県大会は同一大会の為)

(2) 本大会において、退場を命じられた競技者は次の1試合に出場できない。

それ以降の処置については本大会規律委員会で決定する。

(本大会規律委員会は、4種委員長、4種副委員長、審判委員長、担当ブロック長とし、悪質で2試合以上の出場停止処分を科する場合は、和歌山県サッカー協会規律委員長へ報告し判断を仰ぐ。)

競技者が退場を命じられた場合は、そのチームの交代要員の中から競技者を補充することができる。補充している間は試合を停止する。

(3) 本大会の異なる試合において累積警告を2回受けた競技者は次の1試合に出場できない。

(4) 本大会の規定にない事象が発生した場合は、大会規律委員会で審議し4種委員長が決定する。

15. 審 判 (1) 審判は1人審判とし、補助審を置く。

審判は、(一社)和歌山県サッカー協会の審判委員会に割り当てを依頼するが、県派遣が不可能な場合は担当ブロックで行う。(4種審判委員長が県審判部に依頼する。)

16. 表 彰 (1) 優勝チームには賞状及びトロフィー、メダルを、2位・3位・4位チームには賞状及びトロフィーを授与する

(2) 和歌山県大会の上位2チームは2025年3月1日～2日に上富田スポーツセンター球技場で開催予定の出場チームは宿泊が前提である「JA全農杯全国小学生選抜サッカーin関西」に出場出来る権利を与える。

17. 参加申込 (1) 参加登録は、選手16名～20名、指導者5名以内とする。

(2) 大会出場チームは(公財)日本サッカー協会WEB登録システムにて、必要事項を入力し1月27日(月)21時までに参加申込手続きを行うこととする。

期日までに、手続きを済ませていないチームは、本大会の出場資格を失う。

(3) 登録選手は、(公財)日本サッカー協会登録の選手証を背番号順にWEB登録システム「KICKOFF」から出力し、写真入りでの顔の認識ができるものである登録一覧を事前に本大会運営(4種委員長)にメールで提出する。(本大会登録選手16名～20名のみの登録証)(送付先:4種委員長 赤津民芳 アドレス cfese903@jtw.zaq.ne.jp)

18. そ の 他 (1) 競技中の負傷について応急処置はするが、以降の責任は負わない。

(2) メンバー表の提出は試合時間30分前までに大会本部に提出する。

(3) 選手証のチェックは、17.登録(3)にて事前確認を行うため、実施しない。

また、選手による本部挨拶も不要。爪のチェックについては、各チーム最初の試合前の整列時に行う。

不測の事態が起きた(怪我等で選手を入れ替える)場合のみ当日選手証の提出が必要。

(なお、未登録選手の出場等の非紳士的な行為(不正)があった場合は、規律委員会で厳重な処分を決定することとする。《大会出場禁止》等の今後の措置についても4種規律委員会で協議して決定する。)

(4) 本大会へのお出場エントリーに関して、

原則としてブロック予選時にエントリーしたメンバーでなければ認められない。

上記を踏まえ予選出場メンバー以外の選手が認められるのは以下の通りです。

① 地域予選でエントリー人数が、20名に満たなかったチームの追加選手のエントリー

② 怪我・病気等で大会参加が出来なくなった選手の入替えによるエントリー

※ また、他チーム(県内外を問わず)で同大会にエントリーされた選手が移籍して他チームより大会にエントリーする事は認めない。

(5) ウェルフェアオフィサーについては、準決勝及び決勝に配置する。(運営ブロック等で行う。)

(6) 本大会は、通信機器を使っての戦術的指導やチームによるグラウンド内でのビデオ撮影又は写真撮影は禁止とします。(但し、試合前においての集合写真は許可する。)

(7) 本大会は、運営側の写真撮影や協力各社カメラマンによる撮影については許可する。

また、撮影された写真については、大会運営側において、(一社)和歌山県サッカー協会
で活用する可能性がある。(試合風景、表彰式等のHP掲載のため)

(8) 本大会は、(一社)和歌山県サッカー協会技術委員会等によるグラウンド内で大型三脚及びAIカメラによる撮影を行う可能性がある。

(9) 天候についての処置

試合会場に於いて警報が発令された場合は、試合時間調整又は順延する場合があります。順延等の場合は、4種委員長と4種副委員長並びに担当ブロック長と協議し決定する。その場合は、各ブロック長を通して午前7時頃連絡する。

(出場チームへの連絡は、ブロック長より)

(10) 不測の事態が起こった場合、大会役員が協議の上、大会責任者(4種委員長)の判断により決定、実施する。

【必要書類】

大会当日

1. 選手登録証 事前に提出しているが、当日持参する事
2. メンバー表 受付時に受け取り、時間までに提出